

2019年4月8日

各位

会社名：東京瓦斯株式会社
 代表者名：代表取締役社長 内田 高史
 （コード：9531 東証・名証第1部）
 問合せ先：総務部総務グループマネージャー 富山 隆裕
 （TEL：(03) - 5400 - 3894）

メキシコにおける再生可能エネルギー共同開発事業について

当社は、仏国エンジー社（社長：イザベル・コシェ、以下、「エンジー」）とともに、メキシコにおける再生可能エネルギー共同開発事業（以下、「本事業」）に取り組んでまいりますので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 事実の概要

当社は、米国子会社「Tokyo Gas Renewables 1 LLC」（以下、「TGR1」）を通じ、メキシコの再生可能エネルギーの開発・運営を行う事業プラットフォームとしてエンジーが設立した共同開発運営会社（以下、「共同会社」）の株式を50%取得し、エンジーと共同で本事業に取り組みます。

2. 理由

メキシコは日照や風況に恵まれており、同国政府は、国内のクリーンエネルギーの割合を2024年までに35%へ引き上げることを目指すエネルギー関連法を2015年に公布しました。当社とエンジーは、共同会社を通じ、更なる新規再生可能エネルギープロジェクトの開発、建設、運営等を行い、メキシコの低炭素化に貢献してまいります。

3. 米国子会社の概要

(1) 名称	Tokyo Gas Renewables 1 LLC		
(2) 所在地	アメリカ合衆国 デラウェア州		
(3) 代表者の役職・氏名	田部井 純		
(4) 事業内容	再生可能エネルギー事業への投資および運営管理		
(5) 資本金（出資完了予定額）	200億円超		
(6) 設立年月日	2018年8月31日		
(7) 大株主及び持株比率	東京ガスアメリカ社（当社100%子会社）等を通じた当社100%		
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	当社100%	
	人的関係	東京ガス社員が取締役社長に就任	
	取引関係	該当なし	

4. 共同会社（当社出資後）の概要

(1) 名称	Heolios EnTG S.A.P.I. de C.V.（エオリオス・エンターヘー）		
(2) 所在地	メキシコ合衆国 メキシコシティ		
(3) 代表者の役職・氏名（予定）	堀坂 研太郎		
	細川 裕司		
	山之内 宏安		
	Fernando Tovar（フェルナンド・トバル）		
	Ernesto Javier Parra Bertolotto（アーネスト・ハビエル・パーラ・ベルトロット）		
(4) 事業内容	Adolfo Cervantes Laing（アドルフォ・セルバンテス・レイン）		
	再生可能エネルギー事業への投資および運営管理		
(5) 資本金	（未定）		

(6)	当社出資時期 (予定)	2019年5～6月頃	
(7)	大株主及び 持株比率	エンジー 50% TGR1 50%	
(8)	上場会社と当該会 社との間の関係	資本関係	当社 50%
		人的関係	東京ガス社員 3名が取締役に就任
		取引関係	該当なし

5. 今後の見通し

共同会社は、計6つの再生可能エネルギー発電プロジェクトを保有（発電出力89.87万kWp）します。全プロジェクトがメキシコ電力オークションにて落札した15年間の長期売電契約を有し、2020年までに商業運転を開始する予定です。

本事業は、当社グループ初の海外再生可能エネルギー事業への参画であり、今後も当社グループは積極的に海外における再生可能エネルギー事業への参画に取り組みます。

【ご参考】

<6プロジェクトの所在地>



<6プロジェクトの概要>

	発電所名称	電源	所在地(州)	送電端出力 (万 kW _e)	最大出力 * (万 kW _p)	商業運転 開始予定
1	Tres Mesas 3 (トレスメサス3)	風力	タマリハス	4.95	5.18	2019年 2月
2	Trompezon (トロンペゾン)	太陽光	アグアスカリエンテス	12.60	15.86	2019年 7月
3	Tres Mesas 4 (トレスメサス4)	風力	タマリハス	9.57	10.08	2020年 3月
4	Villa Ahumada (ビジャアウマダ)	太陽光	チワワ	15.00	19.98	2019年 7月
5	Abril (アブリル)	太陽光	ソラ	9.90	13.42	2020年 7月
6	Calpulalpan (カルプルアルパン)	太陽光	トラスカラ	20.00	25.35	2020年 7月
合計発電出力				72.02	89.87	—

* 太陽光は太陽電池モジュール公称最大出力（直流）の総量

以上

2019年4月8日

エンジーと東京ガスによるメキシコでの 再生可能エネルギー共同開発事業について

仏国エンジー社
東京ガス株式会社

仏国エンジー社（CEO：イザベル・コシェ、以下「エンジー」）と東京ガス株式会社（社長：内田 高史、以下「東京ガス」）は、共同で再生可能エネルギー事業に取り組むことに合意しました。メキシコでの再生可能エネルギーの開発・運営を行う事業プラットフォームとしてエンジーが設立した共同開発運営会社（以下「共同会社」）の株式を、東京ガスが50%取得し共同で事業に取り組みます。なお、東京ガスが株式を取得した後に共同会社の名称を「エオリオス・エンターヘー」へと改称いたします。

エンジーと東京ガスの交流は1983年にまで遡り、共同会社の設立は両社の長年にわたる交流の大きな成果の一つです。

共同会社は、2つの陸上風力発電と4つの太陽光発電で構成された再生可能エネルギー発電プロジェクト（発電出力89.9万kW）を保有する予定です。また、6プロジェクト全てがメキシコ電力オークションにて落札した15年間の長期売電契約を有し、2020年までに商業運転を開始する予定です。この6プロジェクトの1年間の発電電力量は、メキシコ一般家庭約130万件の消費電力に相当します。

メキシコは日照や風況に恵まれており、同国政府は国内のクリーンエネルギーの割合を2024年までに35%へ引き上げることを目指すエネルギー関連法を2015年に公布しています。エンジーと東京ガスは共同会社を通じ、メキシコの低炭素化に引き続き貢献してまいります。

<エンジー 副社長 ラテンアメリカ統括 ピエール・シャレイルのコメント>

共同会社の設立により、当社と東京ガスの信頼関係がさらに強固なものとなることを喜ばしく思います。この共同会社により、両社の強みを互いに活かすことで、当社グループは、今後も重要な事業分野である再生可能エネルギー事業を拡大し、メキシコの再生可能エネルギーにおける国家目標の達成や円滑な脱炭素化に積極的に貢献できると考えています。また本事業は、2019年2月28日に開催されたキャピタル・マーケット・デイにおいて発表した、エンジーの戦略ロードマップに合致するものです。

<東京ガス 専務執行役員 海外本部長 野畑 邦夫のコメント>

このたび、長年の友かつ再生可能エネルギー分野において豊富な実績を誇るエンジーと共にメキシコでの再生可能エネルギー事業に参入する機会に恵まれ、大変喜ばしく思います。共同会社はエンジー、東京ガスの双方に更なる繁栄をもたらすものであると共に、東京ガスグループとして初めての海外再生可能エネルギー事業への参入となる、記念すべき第一号案件です。これを弾みに、我々は「GPS2020」達成にむけて更に邁進いたします。

<6 プロジェクト所在地>



<6 プロジェクトの概要>

	発電所名称	電源	所在地(州)	送電端出力 (万 kWe)	最大出力 * (万 kWp)	商業運転 開始予定
1	Tres Mesas 3 (トレスメサス 3)	風力	タマウリパス	4.95	5.18	2019年 2月
2	Trompezon (トロンプェゾン)	太陽光	アグアスカリエンテス	12.60	15.86	2019年 7月
3	Villa Ahumada (ビジャアウマダ)	太陽光	チワワ	15.00	19.98	2019年 7月
4	Tres Mesas 4 (トレスメサス 4)	風力	タマウリパス	9.57	10.08	2020年 3月
5	Abril (アブリル)	太陽光	ソノラ	9.90	13.42	2020年 7月
6	Calpulalpan (カルプルラルパン)	太陽光	トラスカラ	20.00	25.35	2020年 7月
合計発電出力				72.02	89.87	—

* 太陽光は太陽電池モジュール公称最大出力(直流)の総量

<トレスメサス 3>



<トロンペソン>



＜エンジーメキシコについて＞

エンジーはメキシコにおいて、発電、熱電併給（コージェネレーション）、天然ガスの輸送・配給、圧縮天然ガス、住宅用・商用・産業用エネルギー・サービス等のエネルギー事業を20年以上運営しております。

現在、天然ガス事業において、8つのガス配給会社を通じて52万件以上の顧客へサービスを提供し、3つのガス輸送導管会社のもとで1,300km以上のガスパイプラインを運営しております。また、電力事業では計34.5万kwの2つの発電所を保有し運営しております。

エンジー・メキシコは、メキシコの脱炭素化に積極的に取り組んでおり、2021年までに、9億2500万米ドル相当の投資により、1.1GWを超える再生可能エネルギー発電容量を追加する予定です。

＜エンジーの概要＞

エンジーは低炭素なエネルギーとサービスにおいて、世界的に範となる企業です。気候変動を背景とした急速な要請に応えるため、民間企業や自治体などのお客さまの脱炭素化に向けた取り組みに貢献する世界的リーダーになることを目指しています。私たちは、再生可能エネルギー、ガス、サービスを商材とした、お客さまにすぐにお使い頂ける競争力のあるソリューションを提供し、16万人の従業員、パートナー、ステークホルダーの協力による創造と調和のあるコミュニティの発展に尽くします。

グループの2018年の売上高は、606億ユーロです。エンジーはパリおよびブリュッセルで上場しており、主要な株価指標(CAC40, BEL20, Euro STOXX50, STOXX Europe600, MSCI Europe, Euronext100, FTSE Eurotop100, Euro STOXX Utilities, STOXX Europe600Utilities)およびその他のインデックス(DJSI World, DJSI Europe and Euronext Vigeo Eiris-World120, Eurozone120, Europe120, France20, CAC40Govenance)を構成する一社となっています。

詳細は www.engie.com をご確認ください。

＜東京ガスの概要＞

東京ガスは、首都圏を中心に、約1,100万件を超えるお客さまに都市ガスを供給する日本最大の都市ガス事業者です。また、自社持分の電源を約165万kw保有し、電力供給する日本最大の特定規模電気事業者（PPS）でもあります。東京ガスは、供給安定性・経済性・環境性に優れた「天然ガス」を軸に自らイノベーションを起こすことにより、東京のガス会社から、グローバルなエネルギー・フロンティア企業への進化を目指し企業価値向上とお客さまの豊かな暮らしの実現に取り組んでいます。

東京ガスグループは、「GPS2020」において、国内外で100万kw規模（国内40万kw・海外60万kw）の再生可能エネルギー電源の獲得を目標に掲げており、国内にとどまらず海外のさまざまな国・エリアにおける事業参画を目指しています。今後も積極的に、海外における再生可能エネルギー電源の獲得に取り組めます。

詳細は <https://www.tokyo-gas.co.jp/> をご確認ください。

以上